



1. 石黒さん家族。2. 石黒さんは町内業者を利用して住宅を新築。「白糠町太陽のまち定住奨励助成金」制度を活用しました。3. 家の中に差し込むたくさんの光は、生活を豊かにしてくれます。4. 庭の畑ではニンジンやダイコン、イモなどを作っています。「おっきなニンジン採れたよー」と梨々菜ちゃん。5. 家の中にあるハンモック。「僕のお気に入りの場所だよ!」と翔大君。6. 近所には公園もあるので、楽しめる場所がたくさんあります。



子どもが学校から帰ってきたときに、家族がいてくれるという生活。

しら糖暮らし
移住・定住者へ
インタビュー

この子たちが大人になっても
子育て支援はずっと続いてほしい。

真梨さん／ずっと白糠で暮らしたいという思いはありましたが、町の子育て支援制度や助成金制度が充実しているというのも、移住する大きなきっかけになりました。医療費や保育料が無料だったり、給食費も無料ですので、その分のお金は、子どもたちがやりたいという習い事に使っています。子どもたちのやりたいことをさせてあげられるのは、こうした支援制度があるおかげだと思っています。

貴章さん／新型コロナウイルスの対応も充実しているなど思いました。「しらぬか応援券」もありがたかったですし、ワクチン接種もスピード感がありましたので、職場でもうらやましがられて、ちょっと誇らしい気持ちになりました。

真梨さん／この子たちが大人になっても、子育て支援はずっと続いてほしいと思っていますが、**貴章さん**／白糠町は、ふるさと納税の寄付額もすごいので、子育て支援制度はずっと続いていくと思

人口は減っていますので、このまま減っていくと、どうなるんだろうという心配はあります。

真梨さん／子どもたちにも将来、『白糠町で暮らせて良かった』と思ってほしいんです。家の外で子どもと遊んでいると、気さくに話しかけてくれる人が多くて、そういう人の温かさも町の魅力の一つだと思っています。全国的に核家族化が進んでいますが、白糠だと大人との関わりを持つ機会がありますので、そういう中で、子どもたちには自ら人間関係を作っていくような、そんな力を身に付けてほしいなと思っています。

貴章さん／公園で遊んでも、いつの間にか知らない子ども同士で一緒に遊んでいたりと、都会では薄れてきた、そういう『田舎の良さ』みたいなものが残っているのかもしれないと思います。町内会もしっかりと残っていますし、ただ町内活動は、これからもっと若い人たちが盛り上げていかなければなりませんね。

真梨さん／私は白糠町で生まれ育って来ましたので、いずれは白糠に戻りたいという思いがありました。夫に相談をしたら賛成してくれましたので、娘が小学校に入學するタイミングで白糠町に家を建てて引っ越して来ました。子どもが学校から帰ってきたときに、祖父母なんですが、家族がいてくれるという生活をしたかったです。

貴章さん／娘は学校から帰ってきたら祖父母の家に行くので、安心できます。白糠町には住宅を建てるのに助成金制度がありますので、妻と「それを活用するのでもいいね」という話しになり、妻の実家の隣

に家を建てることにしました。

真梨さん／ちよūd実家の隣の土地が売りにでていたので、そこを買いました。白糠の空き家バンクも見て、実家の近くに家や土地を探したりもしていました。白糠には広い土地もありますので、白糠なら子どもを伸び伸び育てることができると思っただけです。

貴章さん／家の前でバーベキューをしたり、庭に畑を作って野菜を育てることもできますので、今の生活にはとても満足しています。

真梨さん／建設業者さんも親身になって話を聞いてくれましたし、補助制度の説明もしてくれました。

いずれは白糠町で暮らしたいとずっと思っていました。

石黒貴章さん (37)
たかあき
釧路市出身、釧路工業高等学校卒業。釧路市星が浦大通にある北海機材工業株式会社釧路工場に勤務。趣味はフットサルで社会人のクラブチームに所属している。

石黒真梨さん (37)
まり
白糠町出身、江別市の浅井学園大学短期大学部（現在の北翔大学短期大学部）へ進学し、教員免許を取得する。現在は釧路市内の小学校に勤務している。趣味は海外ドラマを見ること。実家は石黒ふとん店。

移住年：2020年12月
世帯構成：4人 梨々菜ちゃん(6)、翔大君(3)